



▲ウミガメの保護活動のようすを発表する
高浜小学校の4年生

みんなで守ろう 宝島の水環境

～くまもと・みんなの川と海づくり県民大会～

11月11日、「くまもと・みんなの川と海づくり県民大会」が有明市民センターで開かれ、市内外から約200人が参加しました。大会では、栖本中学校など川や海の保全活動団体の表彰や高浜小学校4年生によるウミガメ保護活動の発表、九州大学の野島哲・准教授による天草の海の現状報告、パネルディスカッションが行われました。また、展示コーナーでは、水生生物の観察や写真展も行われ、天草の美しい川や海を見つめ直すきっかけとなりました。



▲安田市長に優勝報告(写真左から小田真美さん、吉川貞子さん、安田市長、福富光生さん)

本市の3選手が全国1位に!

～全国障害者スポーツ大会～

「第7回全国障害者スポーツ大会」が10月11日から16日まで、秋田県で開催され、本市から吉川貞子さん(牛深町)と小田真美さん(城下町)が陸上競技のソフトボール投げに、福富光生さん(栖本町)が水泳競技の25m・50m自由形の2種目に、県代表として出場。3選手とも見事、1位に輝きました(この大会は、障害種別・程度・年齢別で実施)。福富さんは、「皇太子殿下の前で優勝することができ、うれしかったです」と喜びを語られました。



▲一斉にスタートする男子の部1区の選手たち。
ナンバーカード26は本渡東中学校の金子大志選手

本渡東中学校が男子の部で準優勝!

～熊本県中学校対抗駅伝競走大会～

熊本県中学校対抗駅伝競走大会が11月9日、本渡運動公園陸上競技場を発着とする男子6区間20km・女子5区間12kmのコースで開催されました。同大会には、各郡市の予選を勝ち抜いた男女各27校が出場。本市から男子4校(本渡東・稜南・牛深・本渡)、女子3校(本渡・牛深・五和西)が出場しました。男子の部に出場した本渡東中学校は、選手全員がサッカー部員ながら準優勝と大健闘。12月1日に鹿児島県指宿市で開催される九州大会に出場します。

初期消火活動の訓練を披露

～屋内消火栓操法大会～

11月10日、本渡運動公園陸上競技場で「第12回屋内消火栓操法大会」が行われました。同大会は、自衛消防隊の初期消火活動の技術向上を目的に2年に1度開催。天草島内の事業所や高校など男女合計33チームが参加。3人1組で屋内消火栓を可動し、想定された3カ所の火点へ放水、その速さと操作の正確さを競いました。優勝は男子の一般が愛愛園(倉岳町)、男子の高校が天草西校・重量挙げ部(天草町)、女子の一般・高校が御所浦苑(御所浦町)でした。



▲想定された火点をめがけて勢よく放水!



▲地元のこっば劇団が
倉岳弁を生かした「こっば劇」を披露

文化・芸術に触れ、文化の秋を満喫

～浦地区ステージ発表会～

11/4
倉岳

浦地区ステージ発表会が11月4日、浦小学校体育館で開催されました。これは、舞踊や大正琴などの文化サークルの発表の場を設けるとともに、地区の皆さんに文化や芸術に触れてもらおうと開催されているもので、今年で7回目。中国からの留学生による歌や地元のこっば劇団による倉岳弁での劇などが披露され、約200人の観客は笑いと感動に包まれていました。また、秋祭りの写真展や竹細工などの展示も行われ、訪れた人は文化の秋を満喫しました。



▲かっぱ像の完成を祝い、
栖本保育所の園児が「へのかっぱ音頭」を披露

「日本一の親子かっぱ」誕生!

～栖本地区のシンボルが完成～

11/4
栖本

11月4日、栖本まちづくり協議会が栖本のシンボルにと、地区住民の募金などで建立した「かっぱ像」の除幕式が行われました。この像は、湯船につかる3匹の親子かっぱを表現。御影石を使い、重さ約20t。高さは父かっぱ2.6m、母かっぱ2.2m、子かっぱ1.4m、石造りのかっぱ像としては日本一の大きさです。式典では、栖本保育所の園児が「へのかっぱ音頭」を初披露。かわいい衣装に身を包んだ子かっぱの登場に、訪れた人たちも大喜びでした。



▲河浦高校の生徒に手伝ってもらいながら
イモ掘りを楽しむ園児たち

大きなイモがたくさんとれたよ

～一町田保育所の園児が河浦高校へイモ掘り遠足～

11/8
河浦

11月8日、ぽかぽか陽気の中、一町田保育所の4・5歳児26人が、河浦高校へイモ掘り遠足に出かけました。これは、同校のサツマイモ畑を園児たちに開放し、生徒と触れ合いながら収穫を楽しんでもらおうと計画。園児らは、お兄さんやお姉さんといっしょにサツマイモを掘り上げました。中には自分の顔より大きいイモもとれ、子どもたちは大喜び。用意されていた焼きイモと収穫したサツマイモのおみやげを、園児らはうれしそうに持ち帰りました。

炭づくりで地域に貢献

～「ひま陣会」が炭の初窯出し～

11/12
新和

碓石地区振興会会員13人が、地域のために役立とうと今年9月に「ひま陣会」(新木富雄代表)を発足。同会による炭の初窯出しが11月12日に行われました。これは、同地区の環境美化のために活用しようと取り組まれたものです。同会では、10月2日から碓石公民館近くに窯を造り、同15日に初窯入れ。初窯出しでは約400kgの炭ができました。なお、今回できた炭の一部は、12月2日に開催する「碓石ふるさと祭り」で販売される予定です。



▲初窯出しを行ったひま陣会の皆さん